



東京都立武蔵高等学校  
同窓会事務局  
〒180 武蔵野市境4-13-28



清水忠男氏作品  
13回生B組

## ● 同窓会総会のお知らせ ●

《新会員歓迎会を兼ねる》

日時 6月4日(日)午後1時～4時

場所 母校会議室

会費 無料

講演会 清水忠男氏(13回B組)  
(千葉大工学部教授)

テーマ 「デザイン探偵団街に行く」

清水忠男プロフィール

1966 多摩美術大学デザイン学科卒業

1966～76 剣持デザイン研究所、デザイナー

1978 クラブルック芸術大学院修士課程終了

1978～84 ザ・ハーデックデザイン事務所、  
主任デザイナー

1984～87 ワシントン大学工業デザイン学科助教授

1987～91 千葉大学工学部工業意匠学科助教授

1991～ 同教授

●平成6年度(平成7年3月)卒業生 同窓会幹事名●



## 同窓会50周年を前に 幹事制を考える

同窓会長 若井 博

昭和21年1月に第1回総会が開催され、来年度総会で同窓会も50周年の年輪を刻むこととなりました。この間、校名も6度の変遷を経て現在の『東京都立武蔵高等学校』となり、母校を巣立った同窓生の数も2万人に迫る勢いです。

過ぎてしまえば50年ですが、半世紀の時の流れの間には時代時代の歴史が刻み込まれて来たことでありましょう。戦中戦後の混乱期に学窓生活を送られた先輩達にとっては、現在の母校の姿を目の当りにするとき正に隔世の感を持たれることでしょうし、また、赤々と燃え上るファイヤーストームの火照りを懐しむ同窓生も数多くおいでのことでしょう。

こうした数々の歴史と思い出を集約する形で、来年度の総会に合わせて『同窓会設立50周年記念事業』を企画して行く考えです。大きな節目である50周年を同窓生共通の喜びとするために是非成功させたいものです。そのためには会員各位のご理解がなによりの“力”です。どうぞ協力ください。

記念事業の一環として、新しい同窓会員名簿の発行に取り組んでいます。前回発行から大変日時が経ってしまいました。その要因としては、編集体制整備の遅れもさることながら会員の正確な消息の把握に多くの時間を費やした点が挙げられます。幸い高橋正子先生（会顧問）の筆舌に尽くせぬ献身的なご尽力があって基礎資料を整えることができましたものの、それとて自ら限界がありません。名簿の生命線は正確な情報把握にあります。会員各位からの情報提供が必要ですし、クラスと同窓会とのパイプ役としての各クラスの同窓会幹事の協力が大いに期待されるところですが、幹事制度が多分に有名無実化しているのが実態です。幹事の役割の重要性を認識いただき改めて各クラスの幹事の配置を図ってほしいと願うものです。幹事制度の活性化がひいては同窓会運営の活性化に通ずる確かな道と信ずるからです。



## 武蔵の現況

校長 嵐田 薫

日頃は同窓会の皆様方には、大菩薩ヒュッテの管理・運営、後輩達の指導等、いろいろとご支援をいただき誠にありがとうございます。紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。また来年は同窓会設立50周年の節目の年を迎える事になり、心からお祝い申し上げます次第です。この半世紀の間、1万9千名近くの卒業生が巣立ち、社会の各方面でめざましい活躍をされている事は誠にご同慶の至りです。

さて、来年の3月に卒業し、節目の50周年を迎える同窓会会員になる後輩達の学ぶ母校の現況をご報告し、挨拶とさせていただきます。

まず教職員の動向ですが、今年は例年に比べ、大変多数の教職員が異動いたしました。退職者が6名、転出者が5名と、実に11名の大異動でした。今年はたまたま在勤12年の教員が多かった事（規則で13年以上同一校に勤務できない）、定年退職者が多かった事等が重なった結果でした。

また平成7年3月から学校施設の一部を地域の方々に開放する学校開放がはじまり、テニスコートを定期考査前の日曜日等に開放する事になりました。これに先立ち、一昨年からは、本校教員によるパソコン公開講座も夏休み中に実施され、地域の方々との交流を深めています。

そして今年から、入学選抜制度の改革の一つとして、一般入学選抜とは別に、本校においても推薦入学制度を取り入れる事になりました。2月の一般入学試験に先立って1月に実施された推薦入学選考には、武蔵高校でぜひ学びたいという熱意あふれる優秀な受験生が、推薦定員の4.5倍以上も集まり、4月から推薦入学第一期生として武蔵で学ぶ事になりました。昨年からの単独選抜制度の導入や今年の推薦入学制度の実施等によって、母校愛に燃えた武蔵高生がさらにふえ、今後の彼等の活躍を大いに期待したいところです。

## 大菩薩ヒュッテ

卒業の頃大菩薩ヒュッテが出来て以来いつか行きたいと思っていましたが、なかなかその機会がありませんでした。4年前、奥多摩など近くの山をハイキングや植物散策をする『森の会』というパーティで大菩薩峠に登った時、ヒュッテを見たいものと福ちゃん荘、勝縁荘の辺りかと捜しましたが見付けられず残念でした。

そこで、去年の夏、家族と高校の友人を誘って思い切ってヒュッテに泊まることにしました。勝縁荘からちょっと横道を入った先に写真で見た通りのこざっぱりした小屋がありました。最近改装



したとのことで台所にはガスもあり、湧き水は水道となって届き、気持ち良く夕食の支度をしました。大きな囲炉裏にまきストーブ、富士の見える部屋、中二階も広く、私達だけだったのでゆっくりと泊まる事が出来ました。その日のボランティアの小屋番の方は御夫婦で、最近ついた太陽電池の話、水が突然出なくなった話、小屋のペットの「やまね」などいろいろな話を伺いました。

前回の大菩薩行きではヤナギラン、オオバギボシ、ワレモコウがひときわ背高く、下には可愛いウメバチソウ、イカリソウが、唐松尾根ではミヤマタタビのピンクの葉が一面に広がっていました。今回は石丸峠のヤナギランが綿毛となっていて面白く、恐ろしいトリカブトが見事に咲き、ヤマオダマキ、キバナホトトギスなどなかなか興味尽きず、予定よりだいぶ時間がかかって下山しました。ヒュッテは山岳部OBの方々で良く整備されていて、ファミリーハイクやクラス会に活用したいものです。

## 花柳界の思い出

大学に進学せず日本料理の道に進んで、今年で25年になる。最初の修業の場所は東京の赤坂で、私のいた店は待合いや料亭へ料理の仕出をする赤坂でも一流の店であった。当時の赤坂は花柳界としても待合いの質・量とも東京ではナンバーワンであった。そこで働く芸者さん達の話をしたい。

赤坂で芸者として一流になるのは大変なことで、その数は見習い、半玉、水上げ合わせて300人位は居たと思う。水上げをすると自分の家を持たせて貰い、独立するのである。料亭では初めての客は座敷に上げないので、一般の人は芸者遊びが出来ないようにしていた。

私の毎日は夜九時頃には仕事が終わりに、銭湯の帰りには二丁目の喫茶店に立ち寄ったものである。

この時間になると座敷の引けたお姉さん達もやってきて「アラ？ 千古満のお兄さん方、今晚ワ！」その声が掛るとコーヒー代がタダになるのだ。

そこでお姉さん方の話を聞くのが楽しみであった。お姉さん達の家は男手が無いので、冬に雪が降ろうものなら、皆それぞれ顔見知りのお姉さんの家へ雪掻きに行くのである。ある時など店の若衆が一人も店に居なくなって主人に大目玉を食っ

たこともあった。雪掻きや力仕事が終わった後に、家の中に通され甘酒や汁粉、時にはビールなどもご馳走してくれるのだ。女性の家に上がり込んだとはいえ、もともと大の大人達を座敷で遊ばせることを商売にしている女性であるから、二十歳の私など子供位にしか見ていなかったろう。

アー、残念、残念！



鉄人を超えた料理人 菱山 和雄  
彼に会うには 神田 藤村で！  
最高の歓迎をしてくれます

## ●第二の故郷便り「福岡」より

夫の転勤に伴い埼玉県の上尾、奈良と住まいを移し15年前から福岡に住んで居ます。その間に1男4女に恵まれ、10年間はおむつを洗い続けました。私も夫も子供が大好きで、この育児期間はとても楽しく、子供達を相手におやつを作ったり、釣りにいったり、何をするのも5人の子連れでした。

ここに来た頃は見るもの聞くもの珍しく、博多弁でやり合う店先の対応にも興味津々で、毎日買物に出掛けました。小学校低学年の上の2人は、ピンピン跳ねるあま海老を買えば水槽で飼いたがり、カレイがびたびた尾ひれを動かしているのと、何時までも離れたがらず、いきたカニを買ってくると畳の上に放して、茹でるなんてとんでもないこととなります。そんな子供達も親の思い以上に生長し、長女は23歳、ちょっとふっくらの花のOL3年生、小さい頃から生活力旺盛で頼もしい存在、次女は21歳、今風に言えばプウ太郎フリーターともいいましたかしら？ 保母になりたいと言う夢に向かって勉強中。長男は昨年高校を卒業し、今春大学を再トライしたものの、残念ながらクリア出来ず、現在これからの進路を考慮中。3女は高校1年生、少々の赤点なんぞは何のその。部活のバレーボールに燃えています。4女は中学2年生、顧問の先生とぶつかってバレー部を飛び出し、今は勉強一筋？ かな。

夫は53歳、車で30分の太宰府でガソリンスタンドをやっています。こちらでは通勤30分は『遠くて大変ですね』と言われます。東京では考えられませんね。さて私は、子育ても終り今や自由時間たっぷり。ある婦人団体（家庭生活を大切にしながら家計簿を付け続ける）に属し、年配や若い会員に囲まれて勉強しています。

ここで私の目を通した福岡のご紹介です。まず食べ物がとてもおいしいです。中でも魚は飛び切り美味しいです。今住んでいる南区の長住にはメイン通りに毎日青空市が開かれます。そこでは野菜も安く、朝捕れたばかりの魚が手にはいることもあります。

我が家から20分も車を飛ばせば博多湾、1時間と少しできれいな海水浴場に行かれます。山が好きなら四王寺山、雷山、背振山等気楽に登れる山が目白押しです。

博多っ子は人情に厚く、けんかっ早くて剛毅です。どこか江戸っ子に通じる処が多く、私にはこんなところも魅力です。もう一つのお気に入り、福岡はほとんど地震がないことです。小さい頃から地震が大嫌いだった私には天国です。

それだけに1月17日に起きた阪神大震災は人ごとではなく、沢山の方々も亡くなられ、今なお多くの被災者が住む家もなく、生きる希望さえ持ち得ない境遇におられることは、心からご同情申し上げます。

今の自分に何ができると考え、できることから取り掛かろうと、義援金を集めて送ったりしています。1日も早い復興を祈り続けたいと思います。

武蔵高校を卒業して30年後、懐かしい母校をたずねる暇もなく過していますが、こんな機会を与えて下さってありがとうございます。

まもなく子供たちも巣立って行くでしょう。

これからは私の青春です。機会があったら是非母校を訪ね昔の仲間達にも会ってみたいと思っています。クラス会などありましたら声を掛けてください。

ぜひ、よか福岡に来てみてみんしゃい。



## あれから49年 青梅寮生の会

平成6年10月23日、中野サンプラザ平安の間に懐かしい顔が集まった。49年昔の青梅寮生達と先生お二人である。第2次大戦末期、昭島の昭和飛行機工場へ勤労働員されていた武蔵高女2～4回生のうち約120名が青梅とその付近で寮生活を送った。家を空襲で焼いたり、家族の疎開、空襲による交通困難等から、工場側が用意したのである。寮は青梅に二つ、後に小作にも設けられ、3回生(15才)が最も多かった。その年の8月に終戦を迎えるまで、約4ヶ月半の入寮だった訳だが、寮生活の印象は鮮烈で、寮生達の心に消え難く刻印された。今回の寮生の会は3回目、当時の舎監酒井清吾先生、小作寮の世話をされた昆布谷年尾先生を中心に、23名の“もと少女”が集まって思い出話に時のたつのを忘れた。

流石年を召されて好々爺になられた先生の、生徒の安全を守る為に苦心した話、寮長杉山光代さん(2回)の、家恋しさに泣き出す下級生を慰めて夜を明かした話。家族共々舎監として6帖一間に4人で住まわれ、10代半ばの少女達のお父さん代りになった酒井先生、16才の杉山寮長さん、ご苦労はいかばかりだったろうか。

寮の二階から夜中、大空襲で真紅の炎を上げている東京の空を見た話、輸送機の生産が間に合わず徹夜の作業が続いた話、大豆飯も少量で、何時もお腹を空かしていた話など話は尽きなかった。武蔵高女の寮生達は、確かに戦争戦後の歴史をそれぞれ見届けたのだった。



## 青梅寮を ご存知ですか？

『飛行機工場の少女たち—女学生勤労働員の記録』(都立武蔵高女青梅寮生の会刊)。

これは、第二次世界大戦末期、東京都立武蔵高女の少女たちが都下昭島市の昭和飛行機工場へ勤労働員されていた当時の思い出と、28年後、当時生活していた青梅寮で再会したときの感想を集めた文集である。

当時、私どもといくらも年の違わない少年兵が、白いマフラーを巻いて、小さな飛行機で出陣して行き、散った。"神風"の鉢巻きをしめた少女たちは歓呼して送り、いま、ここにある……。20数年の平和の底に一人一人が抱き続けた心の傷を、素朴に書き綴ってみた、と巻頭に記してある。

内容は第一部から第六部まで主題別に分けて六十余名の声記された154頁にわたる貴重な記録である。

- 第一部 師—武蔵高女と戦争
- 第二部 二千トンプレス—昭和飛行機
- 第三部 松籟—小作工場にて
- 第四部 寮生活—青梅、小作、学校の寮
- 第五部 再会—青梅寮「寿々」
- 第六部 縁—見守って下さった方々

28年を経て生徒達に率直な心情をのべられる恩師から頂いた原稿13編、二千トンプレスの前で板金に励んだ少女達が工場の様子を語る個性溢れる文章12編、小作の半地下工場では数十人の工員さんと百人余りの武蔵の女学生が働いていた実態報告を4人が記す。寮の生活はそれぞれに13人の記憶も鮮明である。

ここに再会するに至る迄には、終戦当時、羽村の郵便局長であった榎本武氏の好意ある尽力が糸口となったもので、このエピソードがTBSテレビに「二十八年目の少女たち」と題して放映されたのは昭和48年6月28日であった。この本の題名の由来でもある。当時の学徒課長他5名の方々からも原稿を頂いている。「この一冊には語り継ぎたい無形の宝がある」と、発行当時の武蔵高校有馬敏行校長は語られている。

# 青梅寮物語

中島 みちさん

## 菊池寛賞 受賞おめでとう

この度の菊池寛賞受賞を機に、私の著書をご紹介下さると言う。47年も昔に旧制最後の卒業生として武蔵を巣立った私にまで、同窓の方々からの暖かなお励まし、本当に嬉しく有難く思う。

私は二つの大学と大学院に学んだが、都立武蔵高校ほど強烈に私の中に居座り続けている母校は他にない。武蔵には、私の十代と私の戦争と平和が凝縮されているからだろうか。

実は、卒業7、8年のある日武蔵を訪ねてショックを受けたことがある。飛行機工場への動員から戻った私達が、飢えの中でも空襲のない日々幸せを見出し、遅れた学業を必死で取り戻すかたわら、せっせと磨き上げた校舎、つましくも凜として清澄な空気が漲っていた学舎は、その日、無秩序と土埃の中にあるように感じられたのである。多分私は、その日たまたま、戦中への反動で野放図な自由で流されがちな時代の影響下にある母校に出会ったのであろう。そし

て40年、その後の武蔵は、私の胸の中にある二つの武蔵を越えて、自主と秩序の調和の取れた学舎に育ってくれていることだろう。

60代も半ばに近く、逆境にあっても背筋をピシッと伸ばしてにこやかに耐え抜く底力は、武蔵で培われたものと感じられてならない。

ところで今回の菊池寛賞は「優れた評論により、医療と法律の接点及び医療福祉の場の陽の当らぬ部門の啓蒙・改善に尽くした功績」等を理由として頂いたものである。十年余にわたる脳死と臓器移植の現場の取材、検察資料のスクープ等により評価の中心となった「新々・見えない死」、「対談・脳死時代の生き方と死に方」、その他後述の三部作も是非お読み頂きたい。

戦後50年、これからの日本を背負う方々に、乳ガン手術の後遺症に悩む私がジャングルの中にまで入って取材した「日中戦争いまだ終わらず・マレー虐殺の謎」もお読み頂ければ幸いである。

### 中島 みち (ノンフィクション作家)

#### 略歴

昭和28年 東京女子大学英米文学科卒、東京放送に入社  
昭和34年 退社、フリーとなる。その間、放送関係の各種賞受賞  
昭和45年 中央大学大学院法学研究所（刑事法専攻）修士課程終了  
7月、乳ガン手術

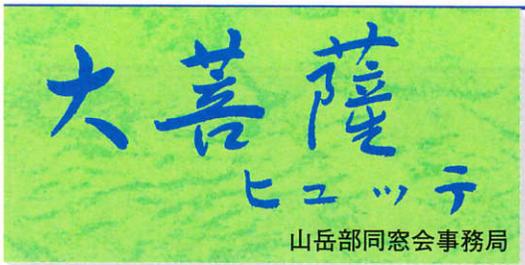
その後、安楽死、生命倫理、医療制度等、医療と法律の接点となる諸問題について、評論、ルポを執筆。厚生省看護制度検討委員、厚生省病院機能評価基礎問題検討委員、東京都民間医療機関経営問題等検討委員なども勤め、一貫して患者の立場からの医療への提言を行い、現在に至る

平成6年 12月、第42回 菊池寛賞 受賞



#### 著書

「誰も知らないあしたーガン病棟の手記」(時事通信社)  
「がん病棟の隣人」(毎日新聞社)  
「悔いてやまずーガンで逝った夫」(毎日新聞社)  
(以上3作、文春文庫版もある)  
「クワガタクワジ物語」(筑摩書房)  
「日中戦争いまだ終わらずーマレー『虐殺』の謎」(文芸春秋社)  
「新々・見えない死ー脳死と臓器移植」(文芸春秋社)  
「対話『脳死時代』の生き方と死に方ー臓器移植、ガン告知、尊厳死」(時事通信社)



'94年11月13日、今日はヒュッテを閉じる日です。昨夜から今朝に掛けて三々五々と参集した仲間が今、誰の指示を受けるでもなく銘々楽しみに仕事に励んでいます。Mは簡易水洗となったトイレをピッカピッカに磨きあげています。奥様がこんなMを見たらなんと感じるのでしょうか。SとT、6カ月お世話になった台所と食器類を夫婦宜しくお喋りしながら睦まじく、オット二人には旦那も奥様も別々に居りました。MiやTa、B達はチェーンソーや斧で薪づくり。高く振りあげた斧のひとつ振り、丸太が二つに割れます。眺めていた息子の尊敬の眼差し。KやHは毛布やマットを富士に向かった斜面に一面に広げて虫干し中。IとNは二階の煤払い。なにせ30年の歴史ある煤。落とすのが何故か忍びない。台所もプロパンガスもなかった頃、煙るストーブの上で作ったカレーライス。石油ランプの灯火を囲んで顔を突き合わせて語った青春の夏の夜。その当時の煙やランプの油煙。屋根裏に舞い上がり、若者達をずっと眺めながら煤になったのです。今年から見違えるように奇麗になったヒュッテの内装。煤が垂れ下がってはいは似合わないですから。来年には二階と屋根裏も改装します。

なにやら未だ仕事は続いているようですが、40分程登ったところにある水源に行き水道の元を止めてこない。これからの寒さでパイプが破裂してしまいますから。

晩秋のヒュッテの一日です。心地よい汗をかいた一日でした。ヒュッテを再開して4年間、多くの武蔵関係者のご利用とカンパでここまで立派に再生できた喜び。武蔵高校と言う絆で結ばれた同窓生同志、その形が大菩薩ヒュッテです。あなたが訪れたときの思い出をそっと包んで閉めます。

○年前のアナタ、○年前の心を見つけにヒュッテにお出かけになりませんか？

お申し込みは、山岳部OB会事務局



#### ・大勢の方々にご利用頂きました。

クラブのOB会、クラス会、知人仲間で、家族で、PTAの方々、武蔵の先生、現役の生徒諸君、障害のある方を引率して来たOB、宿泊、日帰りを含め310名が1994年の利用でした。

#### ・ヒュッテノートより

ヒュッテの外観、取り巻く樹々の匂い、風の爽やかさ、木立の間から仰ぎ見る大菩薩の稜線、昔のままです。コンニチハ！なんと素敵な照明、立派になった内装。床はカーペット。一体何処のペンション？中はすっかり様変わり！ありがとうございます。6年6月11日 Y・H

空は満天の星、天の川が見事に伸び切っていて素敵。山の音がダイレクトに感じられる。富士山には、登山者の懐中電灯の明りでジグザグの光を下から頂きへ浮かべている。驚き。山岳部のOBの小屋番の方ご苦労様です。有難う。 8/6小池

ヒュッテの裏側にマットを出して横になって富士山を眺めていたら何時の間に浅い眠りに入っていた。なにか聴こえる。「こんな贅沢をして良いのかなあ……」僕の心が話し掛けているのか？否、横にも同じような「奴」がいて独り言を言っているのだ。時間は貴重だ。だからそれを無駄に使うということは最高の贅沢なのだ。いいぞ、お主！僕とフィーリングが合うではないか。その贅沢を許されるのが大菩薩ヒュッテなのだ。大地と雲の間で、草原で、一緒にトカゲ（昼寝）しようよ。君！またうとうと森の中をさ迷って行った。顔の上を心地よい風が通り過ぎて行く。 8/31 S

同球会は、毎週金曜日に欠かさず吉祥寺で練習している卓球部のOB会で、今年で34年目を迎えます。これだけ長きにわたり活発に活動しているOB会は、全国でもこの同球会だけであろうと自負しています。上は50代から、下は10代の学生まで様々な年代の人達が居ますが、厳しくて暖かい先輩、後輩の関係で強く結ばれています。卓球のことはもとより、人生の悩みなど何でも気軽に相談できる場になっています。

多くの輝かしい成績がありますが、最近のものでは一昨年の都下社会人卓球大会での団体戦の優勝、昨年の同大会での個人戦の準優勝などがあります。これらの実績が示すように同球会は単なる愛好会ではありません。毎週真剣な練習を積み重ね、毎年5月の連休には河口湖で合宿を行って技術力の向上に努める一方、夏の海水浴や秋の大菩薩登山など卓球以外にも親睦が図られています。



山など卓球以外にも親睦が図られています。

昨年11月20日(日)吉祥寺にて卒業後20年目のクラス会が開かれました。

この会は、担任の井関先生の御退職をお祝いする会でもありました。参加者は24名。前回のクラス会より15年程も経っているので、最初は何となくごちなさ



もあったのですが、変わらずお元氣な先生のお話を伺い、それぞれの近況報告が始まる頃にはすっかり昔の顔を取り戻しました。可愛らしかった女子のかわいらしさそのままに(?)賑やかな面々は相変わらずにぎやかで、まるで武蔵の教室に逆戻りしたよう。皆でワイワイと記念撮影をする頃には、すっかり盛り上がり、2次会、3次会、なかにはカラオケの4次会まで行ったグループもあったとか。今年は、私達も揃って40歳。色々大変な時期に差し掛かりますが、共に歳を重ね、会えば昔のままに語り合える友が居ることを確認できたこの日は、本当に幸せな一日でした。

平成6年度大学合格者数一覧表(平成7年4月10日現在判明分)

分類	大学名	合格者	現役	浪人	分類	大学名	合格者	現役	浪人	分類	大学名	合格者	現役	浪人
国立大	北海道大	3	1	2	国立大	昭和女大	3	1	2	私立大	武蔵大	10	2	8
	北帯広大	1	1			白百大	2	1	1		武蔵工大	5	1	4
	弘前大	1		1		自治医科大	2	1	1		武蔵野音大	1	1	
	東北大	4	1	3		実践女大	1	1			武蔵野美術大	2	2	
	筑波大	6	5	1		実業大	2	1	1		武蔵野女子大	1		31
	茨城大	1		1		成城大	1		1		明治大	42	11	31
	群馬大	1		1		城西大	1	1			明治薬科大	13	4	9
	埼玉大	8	3	5		上智大	33	10	23		明治学大	7	5	2
	馬場大	1		1		女子大	1	1			明治立大	3		3
	千葉大	8	3	5		女成大	30	16	14		明立大	38	12	26
	お茶の水女子大	3	1	2		聖心女大	2	1	1		立和光	2	2	2
	東京大	1	1			聖マリアンナ大	7		1		早稲田大	77	23	49
	東京医科歯科大	1	1			専修大	15	2	13		産業大	1	1	1
	東京外語大	4	3	1		創価大	1	1			津浦大	1	1	1
	東京工芸大	8	2	6		高千穂商大	2	1	1		湘南工大	1	1	1
	東京工業大	10	2	8		千穂大	1	1			湘南工大	1	1	1
	東京農工大	2	2			穂南大	1	1			フェリス学院大	2	1	1
	東京通商大	3	2	1		中東大	2	2	2		京橋女子大	1	1	1
東京電通大	2	2	2	摩文大	5		5	京志大	1	1	7			
横濱国立大	4	1	3	津田塾大	38	15	23	立命館大	8	1	7			
信州大	1	1		帝京大	11	6	5	関西大	2	2	2			
新潟大	2	1	1	帝京大	3	3	3	関西工大	2	2	1			
新潟大	2	1	1	東海大	6	2	4	テンプル大	1	1	1			
古河大	2	1	1	東京大	3	3	2	レジーナ大	1		1			
金沢大	3	2	1	東京大	5	3	2	カリフォルニア大	1	1	1			
滋賀大	1	1		東京大	2	2	2	防衛大	2		2			
京大	1	1	1	東京大	2	2	2	青山学院大	2	1	2			
大塚大	1	1	1	東京大	18	13	5	青山学院短大	2					
立教大	14	11	3	東京大	2	2	2	亜細亜大	1	1	1			
横浜国立大	1	1	1	東京大	2	1	1	大妻女子大	1	1	1			
京浜東北大	1	1	1	東京大	4	1	3	東京女子体育短大	1	1	1			
京浜東北大	1	1	1	東京大	3	3		大妻女子短大	1	1	1			
京浜東北大	1	1	1	東京大	4	2	2	東京女子短大	1	1	1			
京浜東北大	2	1	1	東京大	3	3		東洋英和短大	1	1	1			
京浜東北大	2	1	1	東京大	4	2	2	東洋女子短大	1	1	1			
京浜東北大	9	7	2	東京大	33	15	18	武蔵野美術短大	2	1	1			
京浜東北大	5	5	5	東京大	2	2	2	明治大	1	1	1			
京浜東北大	2	1	1	東京大	20	1	19							
京浜東北大	2	1	1	東京大	1	1	1							
京浜東北大	3	2	1	東京大	2	2	2							
京浜東北大	3	2	1	東京大	7	3	4							
京浜東北大	3	1	2	東京大	37	4	33							
京浜東北大	24	10	14	東京大	2	2	2							
京浜東北大	7	2	5	東京大	1	1	1							
京浜東北大	2	2	2	東京大	13	6	7							
京浜東北大	3		3	東京大	1	1								
京浜東北大	16	1	15	東京大	2	2								
京浜東北大	11	3	8	東京大	5	3	2							
京浜東北大	1	1		東京大	35	12	22							
京浜東北大	1	1		東京大	4	3	1							

分類	合格者	現役	浪人
国立大	83	34	49
公立大	16	12	4
私立大	726	253	467
準大	2		2
短大	10	7	3
合計	837	306	525

この数字は、4月10日までに判明したものであり、卒業生の確認ができない分があります。正確には、6月に発行される予定の「進路統計資料」を御覧ください。

## 環境・製品デザイナー 清水 忠男

今回ご紹介する清水忠男氏はデザイナーである。ファインアーティストが専ら自己表現のために作品に立ち向かうのと対照的に、エンジニアリングと人間性の狭間で自分なりの機能美を追求するのがデザイナーである。

人間工学的に優れたものがデザインと思われがちだが、余りその領域に踏み込み過ぎると、人間の感性や人間の行動様式全般からかけ離れたものになる。だからデザイナーは、偏見を捨て、既成概念に捉われず、人間とその行動を観察し、そこからデザインのヒントを得るのだと彼は言う。

彼の仕事場には、人のしぐさや、くつろぎの姿態、食事の仕方や、道具の使い方などありとあらゆる行動を撮影したスライドが分類されていて面

白い。彼の作品は、個人の所蔵や美術館に収められたりするのはなく、住宅やオフィス、駅や公園で日常使用され、いつの間にか目に馴染んでしまうものとなる。1970年の大阪万博で彼が手掛けたベンチはイスのコトブキで現在も制作されている。インダストリアル・デザインでは国内で伝統のある千葉大学工学部の教授として教鞭をとる傍ら、自分の事務所を持ち実務もこなすマルチ人間の一人として、ますます期待される同窓生である。



### 教職員の異動

